

不用品・廃品回収業者とのトラブルについて

●不用品を「無料回収」すると宣伝する業者にご注意ください

最近、「家電品などの不用品を無料回収すると宣伝する業者に回収を依頼したら、車に積んだ後で思いがけない高額な料金を請求された」というトラブルが、全国で発生しています。

実際に、東松島市内でも、不用品を無料回収する内容のチラシを事前に配布して、違法な回収を行なう業者（無許可業者）が巡回しており、市民から、「変なチラシがポストに入っていたが、回収を依頼しても大丈夫なのか」などの問い合わせが寄せられています。

●無許可業者へ廃棄物の回収・処理を依頼することはできません

法律で定める許可を得ずに、軽トラックなどで市内を巡回し、廃棄物の処理を請け負うことは、法律で禁止されています。

違法な回収業者への依頼は、トラブルや不法投棄に繋がる恐れもありますので、適正なルートによる処理をお願いします。

●不用品・廃家電等の回収に関する「消費生活センター」への相談事例

《 ※国民生活センターホームページの『廃品回収業者とのトラブルに注意！』より抜粋 》

全国の消費生活センター等に寄せられる廃品回収サービスに関する相談が増えています。

相談の内容としては、「当初“無料”をうたっていたのに作業後に料金を請求された」「見積りより高額な料金を作業後に請求された」などが目立ちます。

廃品回収サービスの相談件数

年 度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
相談件数	141件	194件	259件	277件	318件	220件

【事例1：無料と思って呼び止めたら、後で有料と言われた】

「不用になった家電製品等を無料で回収する」とトラックでアナウンスしていた業者を呼び止めて、テレビの回収を依頼。家に来た業者は「回収費用は2000円かかる」と言った。「無料と言っていた」と言っても、「全て無料と言う訳ではない」と威圧的に言うので断れず、2000円を払って回収してもらった。領収書も渡されなかった。

（60歳代 女性 無職）

【事例2：無料と思って頼んだら、車に積んだ後で料金を請求された】

「こちらは無料回収車です。お困りの粗大ゴミはありませんか」と廃品回収業者が回ってきたので自転車、石、カーペットなど結構な量を出した。次々と車に積んだ後、電卓を取り出したので「えっ、有料」と驚いて言った。リサイクル料金はかかると言われ仕方なく2万500円を支払った。

（女性 家事従事者）

【事例3：車に積んだ後で、見積りの2倍以上の料金を請求された】

チラシに「見積り無料」とあったので電話をして来てもらったところ、引取りに10万円位かかると言われたが詳しい説明は無かった。品物は折りたたみベッドや本箱、パソコン、食器、キーボードなど15点位。全部運び出し、業者の車に積み込んでから「思ったより多かったので全部で23万円になる」と言われた。引越しを控えていたので今さら断れないと思い、納得できないまま全額支払った。領収書はあるが見積り書はもらっていない。

(20歳代 男性 学生)

【事例4：業者が回収した物が不法投棄されていた】

「不用品回収します」と訪問され、パソコンディスプレイと自転車を渡して処分代金1500円を払った。後日、回収品が道路脇に捨て去られていた。

(50歳代 男性 給与生活者)

※消費者へのアドバイス

- (1) 粗大ごみや不用品の処分は、お住まいの市区町村のルールに従って行いましょう。粗大ごみに出せない家電品やパソコンなどの処分方法について分からない場合は、市区町村に確認しましょう。
- (2) 廃品回収業者が無料回収をうたっていても、回収時に料金を請求されるケースがあるので注意しましょう。
- (3) 一般廃棄物の収集・運搬は市区町村に許可を受けた事業者しか行えません。安易に廃品回収業者に処分を依頼することは、トラブルや不法投棄の元になりやすいので注意が必要です。
- (4) 廃品回収業者との間でトラブルになったら、最寄りの消費生活センターに相談しましょう。

●排出者責任について

廃棄物の処理に伴う環境への負荷の低減に関しては、その一義的な責任を排出者が負わなければなりません。排出者責任とは、廃棄物等を排出する者が、その適正なりサイクル等の処理に関する責任を負うべきとの考え方であり、廃棄物・リサイクル対策の基本的な原則の一つです。

この排出者責任の考え方については、今後とも、その徹底を図らなければなりません。事業者に限らず一般市民においても排出者としての責務を免れるものではなく、その役割を積極的に果たしていく必要があります。ごみを捨てる人は、捨てようとするごみのリサイクルや処分に責任（排出者責任）を持つようにしましょう。

●回収業者とトラブルが起きた場合

無許可業者が配るチラシには、連絡先（会社の所在地・電話番号）がないものや、虚偽の連絡先を記載している場合があります。トラブルが起きても回収業者との連絡が不能となる場合があります。

回収業者とトラブルが起きた場合は、東松島市役所市民課（消費者生活相談窓口）、石巻警察署並びに最寄りの交番・駐在所に相談してください。

東松島市役所 市民課 消費生活相談窓口（本庁舎1階）

■相談日 月・水・金 [9:00~15:00] ■電話 82-1111 [内線1117]